



“さくらの会”便り

発行責任者	会 長 山本 静子
編集責任者	事務局 長 上原 栄
Tel.0773-22-7859	

ーリラックスできて、はげまし合うところ、勇気を与えられるところー

オンライン 交流会を実施

顔が見られて嬉しかった



8月22日10時からのオンライン交流会は、各自宅から綾部市立病院の作業療法士古川絵美様の進行と、同堀江勇太様のサポートをお世話になり11名の参加で行いました。

ただ、コロナ禍の中での開催でしたので、「市民交流プラザふくちやま」で、

ZOOMが自宅できない方の少人数の参加を予定していましたが、会場使用中止となり残念な結果となりました。

今後、できるだけ多くのZOOMによる

 オンライン交流会ができる
 環境となることを願っています。



▼S・S、Y・Sさん
 「参加しながらいつも
 思われるのですが、
 みなさんがさまざまな

ことを自分で工夫して過ごされているのに
感心します。

自分は、今だに
仕事も毎日の生活
も前向きに取り組
めることが少なく、
職場と自宅の往復
の毎日です。まだ
刺激を求めて彷徨っ
ています。

また、刺激をい
ただけるように会に
参加しようと思います。

先日からの宿題ですが、脳外科の待合室
や院内に会報や交流会の案内を掲示されて

はいかがでしょうか？ってもうされていま
すよね。失礼しました。

また、ない知恵を絞り出して考えます。
また、よろしくお願いいたします。」



▼T・Mさん

「先日は、交流
会を開催して頂き
ありがとうございました。

皆さんの顔を拝
見する事が出来て、
嬉しかったです。

また、自分の近
況報告も伝える事
が出来て、良い時

間となりました。

今後も、色々と手法を変えたりして、よ
り多くの方が参加出来たら、もっと楽しい

<次ページに続く>

時間になるだろうなあ～とっておりますので、今後も宜しくお願い致します。

コロナが少しでも収束して、皆さんと直接顔を合わせて話せる機会が出来る事を楽しみにしています。 ありがとうございます。ありがとうございました。」



Aさん

「時間にしばられず、オンライン交流会がサロンのように、入ったり、出たりできたら気楽に参加できるのでは 」



E・Fさん

「このような状況でも皆さまの顔がみれて近況報告や生活の工夫、困っていることなど、じっくりとお話ができて大変良かったです。

特に坂本さんが仰った「ここが心の拠り所です」という一言がとっても嬉しかったです。繋がり続けることの大切さを再認識する機会となりました。」



高次脳機能障害 リハビリテーション学習会

高次脳機能障害リハビリテーション学習会が開かれます。

日時等は次のとおりです。

【日 時】

- ・2021年11月13日(土)
14:00～15:30
各事業所・ご自宅から

(ネット環境があるところ)の参加

【内 容】

- 第1部 講演 中塚 圭子先生
テーマ「ピアサポートを通して社会につながる!～オンラインセミナー～」
- 第2部 個別相談会(希望者のみ)
問い合わせは、実行委員会事務局
(足立:090-1130-3918)

【入室練習会】

開催1週間前

- 11月6日(土)
14時～15時
ZOOM入室練習会
(チラシを参照して下さい)



さくらの会は、ネット環境のない会員を対象に里山ねっと・あやべ(綾部市鍛冶屋町・綾部市里山交流研修センター)の多目的ホールを借用しリハビリテーション学習会に参加します。広い会場ですので、距離は保てます。

当日13時に集合し、面談での交流会後、14時からリハビリテーション学習会に参加します。

リハビリテーション学習会の参加を希望される方は、10月29日までに事務局上原まで連絡をお願いします。



【編集後記】

▼コロナ対策の緊急事態宣言が解除になりました。今まで出かけることが少なくなりましたが、少しずつ体を動かす機会も増えそうです。

▼しかし最近朝タと昼間の気温の差が大きくなって体調もおかしくなりそうです。

▼今までの運動不足を、無理をしない範囲で取り返しましょう(F)